

1 必要病床数との比較

(単位：床)

区域	医療機能	必要病床数 (R7年) A	病床機能報告 (H30.7.1) B	差し引き B-A		定量的基準に基づく病床数		
						H30推計値 C	差し引き C-A	
千葉	高度急性期	1,077	1113	36	過剰	1,226	149	過剰
	急性期	3,028	4,202	1,174	過剰	3,204	176	過剰
	回復期	2,520	1029	▲1,491	不足	1,884	▲636	不足
	慢性期	1,859	1,723	▲136	不足	1,689	▲170	不足
	休棟等	-	265			329		
	計	8,484	8,332	▲152	不足	8,332	▲152	不足
東葛南部	高度急性期	1,376	1,699	323	過剰	1,515	139	過剰
	急性期	4,783	5,649	866	過剰	4,757	▲26	不足
	回復期	4,072	1,664	▲2,408	不足	2,794	▲1,278	不足
	慢性期	2,779	2,155	▲624	不足	2,104	▲675	不足
	休棟等	-	421			418		
	計	13,010	11,588	▲1,422	不足	11,588	▲1,422	不足
東葛北部	高度急性期	1,386	1,997	611	過剰	1,329	▲57	不足
	急性期	4,227	4,774	547	過剰	3,929	▲298	不足
	回復期	3,647	1,083	▲2,564	不足	2,254	▲1,393	不足
	慢性期	2,439	1,779	▲660	不足	1,881	▲558	不足
	休棟等	-	75			315		
	計	11,699	9,708	▲1,991	不足	9,708	▲1,991	不足
印旛	高度急性期	594	1,168	574	過剰	651	57	過剰
	急性期	1,947	2,372	425	過剰	1,773	▲174	不足
	回復期	1,625	576	▲1,049	不足	1,462	▲163	不足
	慢性期	1,382	1,574	192	過剰	1,597	215	過剰
	休棟等	-	357			564		
	計	5,548	6,047	499	過剰	6,047	499	過剰
香取海匝	高度急性期	289	64	▲225	不足	190	▲99	不足
	急性期	745	1,728	983	過剰	1136	391	過剰
	回復期	587	312	▲275	不足	620	33	過剰
	慢性期	560	867	307	過剰	958	398	過剰
	休棟等	-	163			230		
	計	2,181	3,134	953	過剰	3,134	953	過剰
山武長生夷隅	高度急性期	104	20	▲84	不足	79	▲25	不足
	急性期	887	1,555	668	過剰	857	▲30	不足
	回復期	946	412	▲534	不足	620	▲326	不足
	慢性期	994	1,293	299	過剰	1,350	356	過剰
	休棟等	-	176			550		
	計	2,931	3,456	525	過剰	3,456	525	過剰
安房	高度急性期	308	152	▲156	不足	211	▲97	不足
	急性期	602	1,199	597	過剰	961	359	過剰
	回復期	358	111	▲247	不足	287	▲71	不足
	慢性期	373	617	244	過剰	617	244	過剰
	休棟等	-	142			145		
	計	1,641	2,221	580	過剰	2,221	580	過剰
君津	高度急性期	232	575	343	過剰	407	175	過剰
	急性期	806	865	59	過剰	723	▲83	不足
	回復期	810	191	▲619	不足	497	▲313	不足
	慢性期	522	792	270	過剰	736	214	過剰
	休棟等	-	155			215		
	計	2,370	2,578	208	過剰	2,578	208	過剰
市原	高度急性期	284	100	▲184	不足	154	▲130	不足
	急性期	826	1,420	594	過剰	1,055	229	過剰
	回復期	695	391	▲304	不足	695	0	
	慢性期	335	216	▲119	不足	223	▲112	不足
	休棟等	-	48			48		
	計	2,140	2,175	35	過剰	2,175	35	過剰
計	高度急性期	5,650	6,888	1,238	過剰	5,762	112	過剰
	急性期	17,851	23,764	5,913	過剰	18,395	544	過剰
	回復期	15,260	5,769	▲9,491	不足	11,113	▲4,147	不足
	慢性期	11,243	11,016	▲227	不足	11,155	▲88	不足
	休棟等	-	1,802			2,814		
	計	50,004	49,239	▲765	不足	49,239	▲765	不足

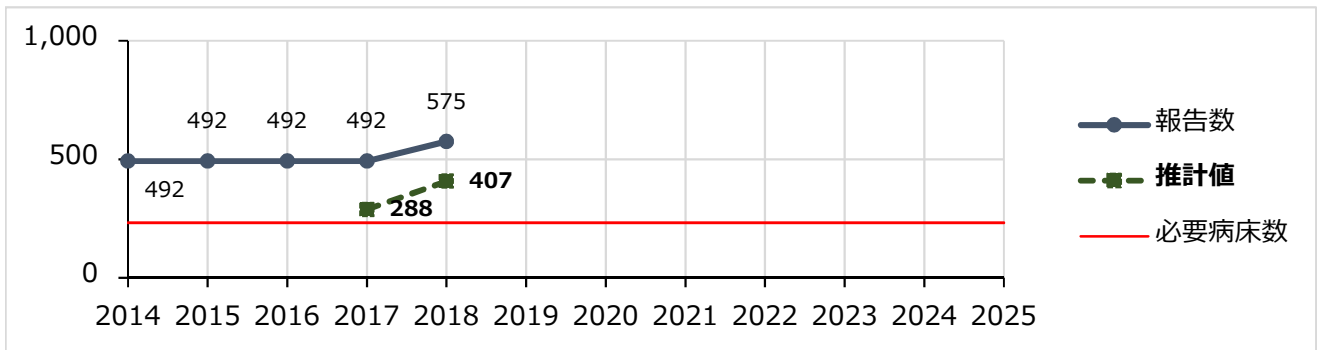
※ 本表の「休棟等」には非稼働、健診のための病棟などのほか、平成30年度病床機能報告の対象医療機関のうち未報告の病床等(605床)を含む。

また、推計値の「休棟等」には、データの欠損により、分類不能となった病棟も含まれる。

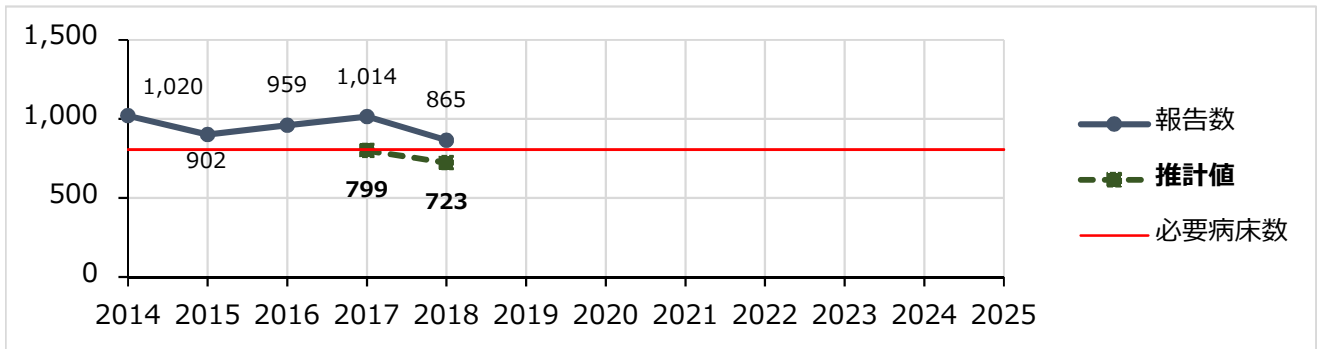
2 当該医療圏における病床機能別病床数の推移（報告数・推計値）

圏域名	君津
-----	----

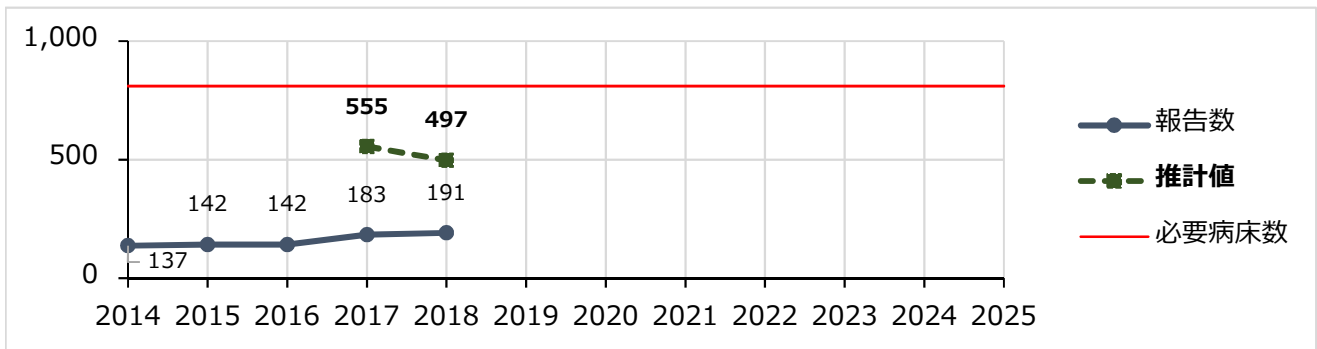
●高度急性期機能



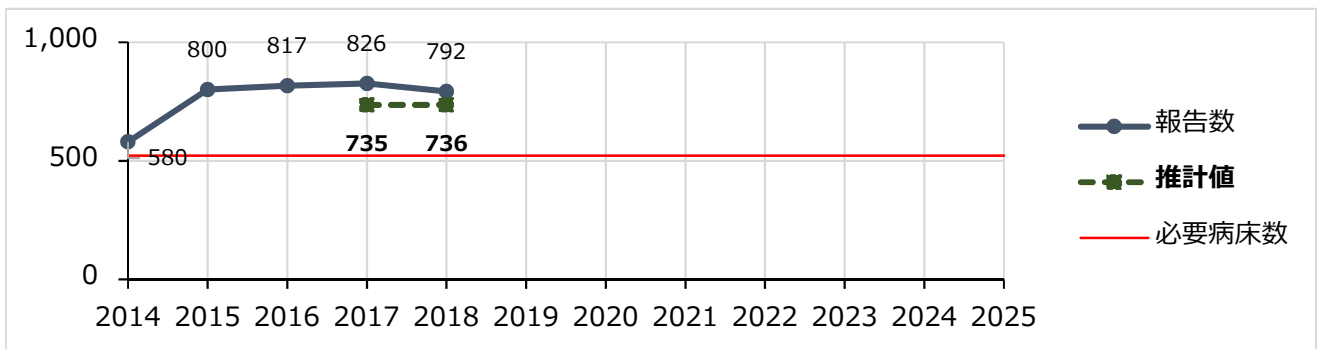
●急性期機能



●回復期機能



●慢性期機能



※ 病床機能報告の一部又は全部が未報告の医療機関の影響により、機能別病床数が増減することがある点に御留意ください。

3 平成30年度病床機能報告 施設別病床数

君津保健医療圏

No.	医療機関名称	4機能計								休棟等			
		高度急性期		急性期		回復期		慢性期					
		2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025	2018	2025		
【病院】													
1	国保直営総合病院君津中央病院	492	492	125	125	20	20	0	0	637	637	0	0
2	国保直営君津中央病院大佐和分院	0	0	36	36	0	0	0	0	36	36	0	0
3	医療法人社団明教会重城病院	0	0	21	21	0	0	21	42	42	63	0	0
4	医療法人社団吉祥会加藤病院	0	0	36	36	0	0	0	0	36	36	0	0
5	医療法人社団邦清会木更津東邦病院	83	83	0	0	0	0	0	0	83	83	0	0
6	医療法人社団鶴会高名清養病院	0	0	0	0	0	0	272	272	272	272	0	0
7	医療法人萩仁会萩原病院	0	0	60	112	0	0	0	0	60	112	88	36
8	医療法人互生会アグリハビ`リテー`ション病院	0	0	58	58	60	60	30	30	148	148	0	0
9	医療法人社団志仁会薬丸病院	0	0	69	69	0	0	0	0	69	69	0	0
10	石井病院												
11	医療法人社団養真会上総記念病院	0	0	49	49	0	0	49	49	98	98	0	0
12	医療法人社団芙蓉会千葉芙蓉病院	0	0	0	0	0	0	120	120	120	120	0	0
13	医療法人社団周晴会鈴木病院	0	0	0	0	0	0	116	116	116	116	0	0
14	医療法人新都市医療研究会「君津」会玄々堂君津病院	0	0	132	132	0	0	28	28	160	160	0	0
15	医療法人社団重光会君津山の手病院	0	0	0	0	0	0	156	156	156	156	0	0
16	医療法人社団栄陽会東病院	0	0	45	45	0	0	0	0	45	45	0	0
17	医療法人社団三友会三枝病院	0	0	32	32	0	0	0	0	32	32	0	0
18	社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院	0	0	93	93	98	98	0	0	191	191	0	0
【診療所】													
19	医療法人社団重城産婦人科小児科	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
20	駒医院	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
21	医療法人社団望星会木更津クリニック												
22	医療法人社団健洋会森田医院	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
23	医療法人社団明朋会金山眼科	0	0	0	0	8	8	0	0	8	8	0	0
24	医療法人社団健誠会Kenクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
25	医療法人社団福德会福王台外科内科	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
26	医療法人社団恒久会山口医院	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19	0	0
27	医療法人社団曾川会そがわ医院	0	0	0	0	5	5	0	0	5	5	0	0
28	医療法人社団マザー`キーファミリー産院君津(現 医療法人社団マザー`キーファミリー産院きみつ)	0	0	14	14	0	0	0	0	14	14	0	0
圏域 合計		575	575	865	917	191	191	792	813	2,423	2,496	90	38

※ 本表の「休棟等」には、平成30年度病床機能報告の対象医療機関のうち未報告の病床等(605床)を含まない。

また、2025年の「休棟等」には、廃止予定の病床や介護施設へ移行を予定している病床数を含む。

病床機能の定量的な基準による推計方法

1) 実態把握調査（区域内の全病院を対象）を実施した構想区域

- ・ 香取海匝、山武長生夷隅、市原の構想区域は、調査結果を活用し、病床機能ごとに病床単位で病床数を集計する。

2) 実態把握調査を実施していない、又は一部の病院しか調査を実施していない構想区域

① 医療機能が明確な病床

- ・ 救命救急病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟等は、各機能に応じ病床数を集計する。

② 高度急性期機能

- ・ 東葛南部、印旛の構想区域は、調査結果を活用し、病棟当たりの平均医療資源投入量47,000円を超える病棟を高度急性期とみなして病床数を集計する。
- ・ その他の構想区域は、救命救急やICU等において多く提供されている医療の算定回数を設定し、当該基準を超えるものを高度急性期とみなして病床数を集計する。

③ 急性期・回復期機能

- ・ 各病棟には各病期の患者が混在していた実態把握調査の結果を活用し、「急性期6：回復期4」の割合を乗じて、病床数を集計する。

※ 千葉、東葛南部、東葛北部は、平均在院日数や病床稼働率等を考慮して、割合を補正